

令和 8 年 度
山形大学大学院農学研究科（修士課程）
学 生 募 集 要 項

令和 7 年 4 月
山 形 大 学 大 学 院 農 学 研 究 科

目 次

I. 入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)	1
II. 募集人員	2
III. 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	2
IV. 入学試験日程	3
V. 出願資格	
1. 一般入試	4
2. 社会人入試	4
3. 外国人留学生入試	5
4. 外国人留学生推薦入試	6
5. 推薦入試	6
VI. 出願手続	
1. 出願書類	8
2. 出願手続	10
3. 検定料の納付	10
4. 注意事項	13
VII. 入学者選抜方法	
1. 一般入試	14
2. 社会人入試	14
3. 外国人留学生入試	14
4. 外国人留学生推薦入試	15
5. 推薦入試	15
VIII. 共通事項	
1. 受験者心得	15
2. 合格者の発表	15
3. 入学手続	15
4. 授業料	16
5. 入学料・授業料以外の経費	16
6. 教育方法の特例措置	16
7. 長期履修学生制度	16
8. ダブルディグリープログラム	17
9. 入学試験個人成績の開示・請求方法について	17
10. 課程修了の認定及び学位	17
11. 岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)への進学	17
12. 安全保障輸出管理について	18
13. その他	18
14. 山形大学大学院農学研究科修士課程案内	18

問い合わせ及び 書類送付先	担当部署	山形大学農学部入試担当
	住所	〒997 - 8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23
	電話番号	(0235)28 - 2808
	メールアドレス	yu-nonyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

I. 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

農学研究科は、農学の持つ多面性と専門性に対応できる複眼的で総合的な判断力やバランス感覚を有する人材を育成するとともに、多様化・複雑化した社会の要請に対応できる高度な専門的知識と技術を有し、研究、調査、開発といった創造的な事業に従事するための実践的な能力を有する高度な専門人材の育成を目指しています。農学研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

各専門分野や学際領域の研究の発展・深化・さらには多様化・複雑化する社会の要請に対応するため、さらに高い専門的知識を得ようとする人材を国内外から広く求めています。

修士課程

（農学専攻）

農学専攻では、安全な農畜産物の持続的生産やそれを担う農業経営、地域の活性化等の研究領域においてより高度な知識を修めるとともに、実践的な能力を養うためのプログラム、微生物・動物・植物等の生物資源を対象とし、バイオテクノロジー等の先端的手法を駆使した開発・改良と有効利用についての専門的なプログラム、森林科学ならびに水土環境科学に関する専門的な講義、演習を主体とするプログラム、地域および国際的な視点での自然との共生を念頭においたプログラム等を展開し、地域社会や国際社会における諸問題を解決し、人類社会の進歩と福祉に貢献できる独創的な科学技術開発を担う研究者、技術者や創造的な事業に従事できる人材を養成するため、各指導教員による個別指導を軸としたきめ細やかな教育と研究を行っています。

農学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生

- 地域貢献や国際貢献について理解と意欲のある人
- フィールドを通して体得した環境保全型生物生産や限られた資源を活かす食農環境マネジメントに関する基礎的な知識をさらに深めたいと思う人
- 生命現象の解明、バイオテクノロジーなどの新技術や応用に関心があり、有用な生物資源の開発と改良、生物による環境浄化、食物の品質保持や健康機能性の解明やその応用に興味のある人
- 森林や河川に興味があり、身につけた問題解決プロセスを社会に還元したいと考えている人

◆入学者選抜の基本方針

上記の求める学生像で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜する。

- (1) 一般入試（口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して判定）
- (4) 外国人留学生推薦入試（志願者から提出された書類を総合して判定）
- (5) 推薦入試（志願者から提出された書類を総合して判定）

Ⅱ．募集人員

本研究科の入学者選抜は、一般入試，社会人入試，外国人留学生入試，外国人留学生推薦入試及び推薦入試の方法で行います。

専攻	研究領域	募集人員
農学	生物生産学	38 人
	生物資源学	
	生物環境学	

(注) 1. 募集人員は、一般入試，社会人入試，外国人留学生入試，外国人留学生推薦入試及び推薦入試の合計数です。

2. 社会人入試，外国人留学生入試，外国人留学生推薦入試及び推薦入試の募集人員は若干人です。

3. 第1回試験で募集人員を満たした場合，第2回試験の募集人員は若干人となります。

Ⅲ．受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で，病気，負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は，以下の期日までに農学部入試担当に相談してください。

募集区分	事前相談期日
第1回試験	令和7年5月21日（水）
第2回試験	令和7年10月16日（木）

Ⅳ. 入学試験日程

第1回試験

一般入試，社会人入試，外国人留学生入試，外国人留学生推薦入試，推薦入試	
出 願 期 間	令和7年6月6日（金）～ 6月11日（水）16時30分【必着】 ※土・日曜日を除く。
	外国人留学生推薦入試のみ 令和7年6月24日（火）～ 7月1日（火）【必着】 ※土・日曜日を除く。
入 学 試 験	令和7年7月10日（木）
合 格 発 表	令和7年7月28日（月）11時
入 学 手 続	令和7年8月18日（月）～ 8月21日（木）

第2回試験

一般入試，社会人入試，外国人留学生入試，外国人留学生推薦入試	
出 願 期 間	令和7年10月21日（火）～ 10月23日（木）16時30分【必着】
入 学 試 験	令和7年12月4日（木）
合 格 発 表	令和7年12月26日（金）11時
入 学 手 続	令和8年1月19日（月）～ 1月22日（木）

V. 出願資格

1. 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者又は令和8年3月までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本学の定める単位（当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね4分の3以上）を優秀な成績で修得したと、本研究科において認めた者
- (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本学の定める単位（当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね4分の3以上）を優秀な成績で修得したと、本研究科において認めた者
- (11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、研究科において、優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

2. 社会人入試

次の各号のいずれかに該当し、令和8年4月1日時点において官公庁、企業又は教育機関等に2年以上勤務ないし自営業及び農林業に2年以上従事している者、したことのある者、又は令和8年3月までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修学年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに22歳に達する者

社会人入試の趣旨

近年の科学技術の大幅な躍進により、社会全体の構造改革の必要性が議論される中で、以前にも増して高等教育の必要性が叫ばれています。また、一方においては、生涯教育の気運が高まりを見せ、大学も地域社会の構成員として広く社会に門戸を開放することが求められています。

このような社会的要請の中、官公庁、企業又は教育機関等に勤務しているスキルアップを目指す社会人や、食料、生命、環境に関連する経験を基に、更に専門分野を探究したい社会人を積極的に受け入れることにより、本研究科の活性化を図ることを目的とし、一般の入学者選抜方法と異なる方法により社会人の入試を実施するものです。

3. 外国人留学生入試

日本国籍を有しない者のうち、出願時及び受験時の際に日本国内に居住している者で、次の各号のいずれかに該当する者又は、令和8年3月までに該当する見込みの者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修学年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

4. 外国人留学生推薦入試

日本国籍を有しない者のうち、出願時及び受験時の際に日本国内に居住していない者で、次の各号のいずれかに該当する者又は、令和8年3月までに該当する見込みの者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修学年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

5. 推薦入試

次の各号を満たす者

- (1) 大学を令和8年3月までに卒業見込みの者
- (2) 本学部を卒業見込みの者は、指導教員等が責任をもって推薦できる者
- (3) 本学部以外を卒業見込みの者は、出身（在学）大学の学長又は学部長が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合、入学することを確約できる者

推薦入試の推薦基準は以下のとおりです。

当該被推薦者の3年次後期までの専門科目の成績において、S及びA（評点が8割以上）の合計単位数が専門科目総単位数に占める割合が80%以上である者（小数点第1位以下は切り捨て）。

なお、認定科目単位数（点数評価されない科目）は専門科目総単位数から除外する。

入学資格審査について

以下の出願資格により入学を志願しようとする者については、次のとおり事前に個別の入学資格審査を行いますので、「入学資格審査願」、「入学資格審査調書（No.1）」、「入学資格審査調書（No.2）」に「最終学校卒業証明書」、「最終学校成績証明書」を添付し、下記の提出期間内に提出してください。

一般入試 出願資格(9), (10), (11), (12)

社会人入試 出願資格(9)

外国人留学生入試 出願資格(9)

外国人留学生推薦入試 出願資格(9)

募集区分	提出期間	入学資格審査結果通知日
第1回試験	令和7年5月19日（月）～ 5月21日（水） ※郵送の場合も5月21日（水）まで必着とします。	令和7年5月23日（金）
第2回試験	令和7年10月10日（金）～10月16日（木） ※郵送の場合も10月16日（木）まで必着とします。 ※土・日曜日は除く。	令和7年10月20日（月）

VI. 出願手続

1. 出願書類

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	外国人留学生推薦入試	推薦入試
入 学 願 書 履 歴 書 受 験 票	本要項に添付の用紙を用い、必要事項をもれなく記入したもの。	○	○	○	○	○
写 真 票	本要項に添付の用紙を用い、出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向、カラーの写真（4 cm×3 cm）を貼ったもの。	○	○	○	○	○
卒業証明書等 （注1）（注2）	出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書。	○	○	○	○	○
成績証明書 （注2）	出身大学の成績証明書又はこれに代わるもの。	○	○	○	○	○
外 部 テ ス ト の 成績通知書の写し	令和5年（2023年）4月以降に受験したTOEIC®TEST, TOEIC®IP, 英語能力検定試験、もしくはスコア有効期間内のTOEFL®TESTの成績通知書の写し（デジタル公式認定証のPDF版を印刷したものも可。）。 出願書類提出期限までに受験した試験の成績通知書が未到着のため、出願時に成績通知書の写しを提出できない場合は、本要項に添付の理由書を代わりに提出の上、試験日前日までに出願書類提出先へ提出すること。	○	—	—	—	—
収納証明書 （「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて提出すること。） （注3）	クレジットカード又はコンビニ端末により検定料を払い込むこと。 詳細は本要項 10～12ページの「3.検定料の納付」及び「入学検定料支払い方法」を参照すること。 支払い完了後、「収納証明書」を切り取り、「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、他の出願書類とともに提出すること。	○	○	○	○	○
返 信 用 封 筒	長形3号（23.5cm×12cm）の封筒に、入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、110円分の切手（速達を希望する者は、410円分の切手）をはったもの。ただし、郵便料金の改定が行われた場合は改定後の金額とする。	○	○	○	—	○
ラ ベ ル 票	本要項に添付のラベル票に、合格通知書及び合格発表後の連絡を受ける郵便番号、電話番号、住所、氏名を記入したもの。	○	○	○	○	○
受 験 承 諾 書	様式は任意。 官公庁、企業又は教育機関等に在職のまま入学を希望する者（自営業者及び農林業従事者を除く。）は、その所属長の受験承諾書を提出。なお、入学を許可された場合には、入学時に同様の入学承諾書が必要。	—	該 当 者 の み ○	—	—	—

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	外国人留学生推薦入試	推薦入試
志 望 理 由 書	本要項に添付の用紙に記入したもの。 本研究科に入学し、勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的を記入。	○	○	○	—	○
卒業研究概要書	様式は任意。 (1)学士課程修了見込みの者 出身校において取り組んでいる卒業研究について、そのテーマ、検証プロセス及び想定される結果を800字（英語による場合は300語）程度にまとめたもの。 (2)学士課程修了者 出身校において取り組んだ卒業研究について、そのテーマ、検証プロセス及び結果を800字（英語による場合は300語）程度にまとめたもの。 (3)上記の(1)(2)に該当しない者 入学資格審査期間中に、本要項の目次下に記載されている農学部入試担当に相談ください。	○	—	○	—	—
研 究 計 画 書	様式は任意。 入学後に研究を希望するテーマ又は研究分野等について1,000字程度にまとめたもの。	—	○	—	—	—
研究業績概要書	様式は任意。 在職中の業績内容の概要を1,000字程度にまとめたもの。これに加えて研究論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合には、その業績を表す文書等の写しも提出。	—	○	—	—	—
住民票、パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書	住民登録をしている者：住民票の写しを提出。 住民登録をしていない者：パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうちいずれかを1つ提出。	—	—	○	—	—
推 薦 書 (外国人留学生推薦入試)	本要項に添付の用紙を用いて、出身（在学）大学の学長又は学部長が作成したもの。 なお、既卒の場合は指導教員が作成したものも可。	—	—	—	○	—
評 価 書 (外国人留学生推薦入試)	山形大学大学院農学研究科の受け入れ教員が作成した「受け入れ教員の評価書（人物評価、学力評価）」（様式は任意）を提出。	—	—	—	○	—
推 薦 書 (推薦入試)	本要項に添付の用紙を用いて作成したもの。 山形大学農学部を卒業見込みの者は、指導教員等が作成し厳封されたもの。 山形大学農学部以外を卒業見込みの者は、出身（在学）大学の学長又は学部長が作成し厳封されたもの。	—	—	—	—	○

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	外国人留学生推薦入試	推薦入試
ダブルディグリープログラム参加申請書 (*希望者のみ) (注4)	ホームページより、所定の様式（エクセルファイル）をダウンロードして作成し提出すること。	*○	*○	*○	*○	*○

(注1) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書、学位を授与される見込みの者は次の書類を提出してください。

①短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書

②出願者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の作成した、学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書

(注2) 国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生は不要です。

(注3) 出願時に、入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定している場合は、不要です。

(注4) ダブルディグリープログラムの詳細については、p.17を参照してください。

(注5) 出願書類への記入は、手書きの場合はボールペンを用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。なお、ワープロ等を使用しても構いません。

2. 出願手続

入学志願者は、出願書類を一括し、所定の期日（本要項3ページ参照）までに提出先へ持参又は郵送してください。

郵送の場合は、必ず書留速達とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きしてください。

なお、出願者は、出願書類の提出に先立ち、あらかじめ希望指導教員と希望指導研究内容について相談してください。その際、希望指導教員の定年予定時期（2年間指導可能かどうか）も併せて確認してください。

3. 検定料の納付

検 定 料	30,000円 *出願時に、入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定している場合は不要です。
払込期間	第1回試験： ①一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・推薦入試 令和7年5月28日（水）から6月11日（水） ②外国人留学生推薦入試 令和7年6月17日（火）から7月1日（火） 第2回試験：令和7年10月9日（木）から10月23日（木） *第1回試験、第2回試験とも日本時間の16:30まで（厳守）
払込方法	日本国内から出願する場合は、クレジットカード又はコンビニ端末から支払うこと。 日本国外から出願する場合は、クレジットカードで支払うこと。 いずれの方法で支払う場合でも、別途必要となる手数料については、志願者が負担すること。 支払い方法の詳細については本要項11～12ページも併せて確認すること。 検定料の支払い後、「収納証明書」（ファミリーマートで支払った場合は、レシート）を「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、出願期間内に本学に届くように提出（郵送（書留速達）又は持参）すること。

【クレジットカードで支払う場合】

インターネット決済e-apply「学び・教育」出願・申込サービス
(<https://e-apply.jp/n/yamagata-gs-c>)にアクセスする。



「はじめに」を選択し内容を確認する。
その後、「申し込む」ボタンを選択する。



個人情報等（志願する研究科・専攻名、氏名、住所など）を選択・入力する。



クレジットカード（VISA・Master・JCB・AMERICAN EXPRESS・MUFGカード・DCカード・UFJカード・NICOSカード）により支払う。



「収納証明書」を印刷し、切り取り線から切り取る。



「収納証明書」を本要項に添付の「収納証明書はり付け台紙」にはり付け、他の出願書類とともに、郵送（書留速達）又は持参により提出する。

【コンビニ端末から支払う場合】※日本国内からの出願者限定

コンビニ（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート）に設置している端末機で「入学検定料等支払」もしくは「大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い」を選択する。
（手順はコンビニによって異なるため、本要項12ページに記載の「入学検定料支払方法」を確認してください。）



大学名・志願する研究科・専攻等を選択し、個人情報等を入力する。



出力される払込票を持って、コンビニのレジで検定料を支払う。



「収納証明書」を受け取り、切り取り線から切り取る。（ファミリーマートで支払った場合は、レシートを受け取る。切り取る必要は無い。）



「収納証明書」（ファミリーマートで支払った場合は、レシート）を本要項の「収納証明書はり付け台紙」にはり付け、他の出願書類とともに、郵送（書留速達）又は持参により提出する。

【検定料支払いに関するお問合せ先】

運用会社 株式会社キャリタス

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

0120-202079（24時間受付）

入学検定料支払方法

コンビニ端末でお申込みの場合(インターネット不要)

クレジットカードでお申込みの場合

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニに、
FamilyMart

マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険／学び・教育**」よりお申込みください。



保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

山形大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券してください。

※画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



※お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
※お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
※すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

(ファミリーマート)

②お支払い後**チケットとレシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。

②お支払い後**レシート(受領書)**をお受け取りください。

3 出願

お支払いが完了しましたら、入試要項などの指示に従って**出願書類**を郵送してください。

コンビニで受け取った「取扱明細書」「(レシート)」等または「受領書(レシート)」等は出願が完了するまで大切にお手元に控えておいてください。



出願書類

＜パソコン・スマートフォン＞

※出願期間最終日のインターネットからのお申込みは日本時間の16時30分までとなります。余裕を持ってご利用ください。
※PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

本学「**入学検定料支払い**」ページにアクセス



<https://e-apply.jp/n/yamagata-gs-c>



申し込む から

画面の指示に従って出願する入試を選んだ後、基本情報を入力。

入力内容が表示されます。間違いがなければ、次のページで表示される「**受付番号(12桁)**」を必ず控えたうえで、お支払い画面に進んでください。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込を確定する前に、内容をよくご確認ください。

クレジットカードでお支払い



●お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、前段の画面で入力する基本情報は、必ず受験生本人のものをしてください。

お支払い後に上記URLまたは支払い完了メールに記載されたURLへアクセス※1し、
収納証明書の印刷 から

PDFファイルをダウンロードの上、印刷してください。

※1:お申込の際に発行された「**受付番号(12桁)**」が必要です。

 [上記URLからアクセス](#)

※PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> TEL 0120-202079/Eメール cvs-web@career-tasu.co.jp

※コンビニ店頭ではお応えできません。

*** 検定料の返還について**

既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合

（出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含む。）

② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合

③ 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合

検定料返還についての詳細は山形大学ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/faq/return/>

なお、申出期限は令和8年3月31日（火）まで必着とします。

4. 注意事項

- (1) 出願後は、いかなる理由があっても出願書類の内容の変更は認めません。
- (2) 提出書類の記載事項と相違していることが判明した場合には、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

VII. 入学者選抜方法

1. 一般入試

選抜方法	入学者の選抜は、口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して行います。
	【口頭試問（プレゼンテーションを含む。）】 口頭試問（プレゼンテーションを含む。）は、領域ごとに行います。 最初に卒業研究の内容と入学後の研究テーマに関して、合わせて10分程度で発表してもらいます。その後、発表内容や志願する研究分野に関する専門的知識を問う設問も含めて15分程度の質疑応答を行います。また、必要に応じて英語能力を問うことがあります。なお、発表の際のプロジェクターの使用を認めます。
期 日	第1回試験 令和7年7月10日（木）13:00～
	第2回試験 令和7年12月4日（木）13:00～
場 所	山形大学農学部
合否判定基準	口頭試問（プレゼンテーションを含む。）の結果と志願者から提出された書類を総合して判定する。

2. 社会人入試

選抜方法	入学者の選抜は、口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して行います。
	【口頭試問（プレゼンテーションを含む。）】 口頭試問（プレゼンテーションを含む。）は、領域ごとに行います。 最初に入学後の研究テーマに関して、10分程度で発表してもらいます。その後、発表内容や志願する研究分野に関する専門的知識を問う設問も含めて15分程度の質疑応答を行います。なお、発表の際のプロジェクターの使用を認めます。
期 日	第1回試験 令和7年7月10日（木）13:00～
	第2回試験 令和7年12月4日（木）13:00～
場 所	山形大学農学部
合否判定基準	口頭試問（プレゼンテーションを含む。）の結果と志願者から提出された書類を総合して判定する。

3. 外国人留学生入試

選抜方法	入学者の選抜は、口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して行います。
	【口頭試問（プレゼンテーションを含む。）】 口頭試問（プレゼンテーションを含む。）は、領域ごとに行います。 最初に卒業研究の内容と入学後の研究テーマに関して、合わせて10分程度で発表してもらいます。その後、発表内容や志願する研究分野に関する専門的知識を問う設問も含めて15分程度の質疑応答を行います。また、必要に応じて英語能力を問うことがあります。なお、発表の際のプロジェクターの使用を認めます。
期 日	第1回試験 令和7年7月10日（木）13:00～
	第2回試験 令和7年12月4日（木）13:00～
場 所	山形大学農学部
合否判定基準	口頭試問（プレゼンテーションを含む。）の結果と志願者から提出された書類を総合して判定する。

4. 外国人留学生推薦入試（第1回試験，第2回試験）

選抜方法	入学者の選抜は，志願者から提出された書類により行います。
合否判定基準	志願者から提出された書類を総合して合否を判定する。

5. 推薦入試（第1回試験のみ）

選抜方法	入学者の選抜は，志願者から提出された書類により行います。
合否判定基準	志願者から提出された書類を総合して合否を判定する。

Ⅷ. 共通事項

1. 受験者心得

- (1) 試験場では常に受験票を携行し，試験室では受験票に記載されている受験番号と同じ番号の席についてください。
- (2) 受験者は，試験開始時刻の30分前までに試験場に到着してください。試験開始後20分を経過した後は，試験室への入室を認めません。
- (3) 試験開始時刻に遅れた場合は，係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 試験室内で，他人のものを借用又は共用してはいけません。
- (5) 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に，これらをかばん等にしまわず，身につけていたり，手に持っているとき，不正行為となることがあります。なお，イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為になります。
- (6) 試験中，発病等やむを得ない場合には，手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。
- (7) 受験票を紛失したときは，すみやかに入試担当もしくは試験担当者に申し出てください。

2. 合格者の発表

募集区分	合格者発表日時
第1回試験	令和7年7月28日（月）11時
第2回試験	令和7年12月26日（金）11時

山形大学農学部ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

[ホームページ] <https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/>

電話やメールによる合否の問い合わせには，一切応じません。

なお，合格者には，合格通知書を同日付けで送付します。

3. 入学手続

(1) 入学手続期間

募集区分	入学手続期間
第1回試験	令和7年8月18日（月）～ 8月21日（木） ※郵送の場合も8月21日（木）まで必着とします。
第2回試験	令和8年1月19日（月）～ 1月22日（木） ※郵送の場合も1月22日（木）まで必着とします。

受付時間は，9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料282,000円を納付してください。ただし、入学料及び授業料については、入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者に関しては不要であり、外国政府派遣留学生及び私費外国人留学生に関しては一般入試と同様です。

注) 納付方法等詳細については、合格通知の際に通知します。

なお、入学料の納付が著しく困難な場合に、願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度及び入学料の徴収を一定期間猶予する制度があります。

(3) 提出書類

入学誓書、連絡先届、写真（縦4 cm×横3 cm）等

詳細については、合格通知の際に通知します。

(4) 注意事項

入学手続完了者で、令和8年3月31日（火）までに所定の出願資格を満たすことが出来ない場合、入学を取り消します。

4. 授業料

授業料については、入学後に納付していただきます。年額535,800円（半期分267,900円）（予定額）
納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

注) 1. 上記の金額は、未確定のため予定額です。

2. 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3. 納付方法等詳細については、合格通知の際に通知します。

なお、経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀な者に対して、願い出により選考の上、前期、後期毎に、その後の授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

5. 入学料・授業料以外の経費

入学時に必要となる任意の経費として、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費等があります。詳細については、合格通知の際に通知します。

6. 教育方法の特例措置

教育・研究上特に必要と認められる場合、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、次の方法で履修することができます。

① 必要に応じて、通常的时间帯(8時50分から17時05分)以外に、特例の時間帯(17時10分から21時10分)あるいは夏季・冬季休業期間も履修できるものとします。

② 特例の時間帯による履修を希望する者は、当該年度当初に、指導教員の承認を得た上、適用希望授業科目名、時限、期間等を出願し、授業担当教員の許可を得るものとします。

7. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情によっては、本研究科の標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することのできる制度です。この制度の利用や授業料の納入方法等の詳細については、農学部入試担当に照会してください。

8. ダブルディグリープログラム

本学と海外のダブルディグリー協定校の双方から修士の学位取得を目指すプログラムです。1年間の留学を必須としており、鶴岡キャンパスでの学修期間を含めて最短2年間で修了が可能です。現在の協定校や、参加条件等の詳細については、以下のホームページよりご確認ください。

<https://tr-yamagata-u-en.info.tr.yamagata-u.ac.jp/ddp>

プログラム参加のためには、大学院入試と別に書類審査および面接審査に合格する必要があります。留学先で十分な研究指導を受けられるよう、指導予定教員およびダブルディグリープログラムのコーディネーターと事前に相談してから申し込むことをお勧めします。

〈ダブルディグリープログラムにかかる問い合わせ先〉

山形大学農学部学務課国際室 (0235) 28 - 2847 / 2827

yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

9. 入学試験個人成績の開示・請求方法について

開示請求受付期間	令和8年5月1日～5月31日(消印有効) 受付時間は、9時から16時30分までとします(土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日を除きます。)
請求者	受験者本人に限ります(代理人による請求は認めません。)
請求方法	農学部入試担当の窓口への持参又は郵送により受け付けます。次の①～③の書類により申し込んでください。なお、郵送による場合は、農学部入試担当宛ての封筒の表に「大学院農学研究科入学試験成績開示申込み」と朱書きしてください。 ①令和8年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書 ※申込書は、令和8年4月中旬以降、山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験者の方」からダウンロードしてください。 ②本学受験票(写しは不可) ※持参による申込の場合は申込時に、郵送による申込の場合は返送時に同封して返却します。 ③返信用封筒 ※長形3号(23.5cm×12cm)に460円分(郵便料金の改定が行われた場合は改定後の金額とする。)の切手をはり、請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの。
開示方法	請求のあった日の翌日以降2週間以内を目途に、郵送(簡易書留)により開示します。ただし、請求状況によっては、時間を要する場合がありますので、ご了承ください。

10. 課程修了の認定及び学位

本研究科に2年以上在学し、必修科目を含む30単位以上を修得し、かつ、学位論文の審査並びに最終試験に合格した者には、課程の修了を認定し、修士(農学)の学位を授与します。

11. 岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)への進学

岩手大学大学院連合農学研究科は、本学大学院農学研究科、岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻並びに弘前大学大学院農学生命科学研究科の修士課程、及び各大学の附属施設等を基盤として編成されています。各大学の研究科(修士課程)と密接な連携のもとに運営されていますが、それぞれの研究科とは別の独立した研究科であり、後期3年のみの博士課程です。岩手大学大学院連合農学研究科は、生物生産科学、生物資源科学、地域環境創生学の3専攻、9連合講座が置かれており、本学大学院修士課程の学生は、選考により修士課程から引き続き連合農学研究科(博士課程)に進学することができます。

なお、本学農学研究科修士課程を修了して3年以内の者に対しては進学者として扱い、検定料と入学料は納付する必要がありません。

12. 安全保障輸出管理について

山形大学では、「外国為替及び外国貿易法等」に基づき、「国立大学法人山形大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供、貨物の輸出の管理を行っています。その管理のため、外国の政府、法人等から強い影響を受ける状態（特定類型）の該当性に関する申告書の提出をお願いする場合があります。

規定事項に該当する場合は、大学から経済産業省への許可申請が必要になる可能性があり、その結果、技術提供がすぐに実施されない場合があります。また、経済産業省への申請について、国際平和・安全の維持の観点から不許可となった場合、結果的に大学からの技術提供が行われない場合があります。

13. その他

社会人入試の入学者について

入学後は、原則として、一般入試で入学した者と同様、本研究科履修規則に定められたカリキュラムに沿って履修することになります。このため、在職のまま入学する者の勤務先における身分（在職、休職等）については、当該勤務先の定めによるものとします。

なお、在職のまま入学する者については、入学手続の際、現場を離れて学業に専念できることを確認できる書類（その旨を記載した所属長の入学承諾書又は休職証明書）の提出が求められます。

個人情報の取扱いについて

本学は、提出された書類の個人情報は、次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。

- ① 入学者選抜試験実施のため
- ② 入学手続業務のため
- ③ 入学統計調査のため
- ④ 就学上必要な本学での業務のため
- ⑤ その他大学として必要な業務のため

14. 山形大学大学院農学研究科修士課程案内について

農学研究科修士課程の次の事項については、山形大学農学部ホームページ「入試案内」(<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/exam.html>)の「農学研究科令和7年度入学用学生便覧」を参照すること。

- ① 目的（p.1）
- ② 専攻について（p.1）
- ③ 農学専攻の教育理念と目標（p.1）
- ④ 研究領域・担当教員・研究分野・研究内容紹介（p.34～37）